

第7回不妊・不育とこころの研修会

卵子の老化 を取り巻く事情

生殖医療の進歩は目覚ましいものの、現在でも、高齢女性が子どもを授かることは困難です。しかし、高齢とは何歳でしょうか？凍結保存した胚を保存する期間は、女性が生殖可能な年齢までとされています。

一般人の考える高齢とは？生殖可能年齢とは？生殖医療に従事する者の考える高齢とは？知らずにその年齢を過ぎてしまったら？その年齢を前にして、がんの治療が始まったら？パートナーがいなかったら？

卵子の老化を取り巻く事情についてお話しします。

日時：2012年3月2日（金）

18時00分～19時50分

会場：岡山大学鹿田キャンパス

医学部保健学科棟 3F 301大講義室

対象：医療・保健スタッフ・一般

参加：無料

18:00 あいさつ

『配偶子の凍結保存技術をめぐる話題とマジョリティ(世間)の肯定感』

岡山大学病院産婦人科医師
岡山大学大学院保健学研究科

中塚幹也

18:20 『高齢女性と生殖医療：AMHによる卵巣機能の予測から見えてきたもの』

岡山二人クリニック院長

林 伸旨

18:50～19:10 映像セッション

「ミドルエイジクライシス いつかは生きたい」

(2010年11月放映 NHK首都圏ネットワーク)

19:10 『今は生めない

でも、いつかは生きたい女性たち』

NHK首都圏放送センター

牧本真由美

19:50 あいさつ



お問合せ

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」

Phone & Fax: 086-235-6542

E-mail: funin@cc.okayama-u.ac.jp

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/funin/index1.html>

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室

Phone & Fax: 086-235-6538